

### 代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

# くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7  
TEL 03(3404)7661  
E-mail address yo\_sosiki@tokyo-kinikai.com  
友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

# 子どもも大人も笑顔いっぱい

## 2012「健康まつり」開催

「手をつなごう、健康なまちづくり」をテーマに「2012健康まつり」が、代々木病院にて開催。800人が約30の模擬店や企画を楽しみ土曜の午後を満喫しました。

### 病院と一緒に盛り上げたい

「トントトーン！」  
10月13日(土) 正午、昌宏会のおはやしが健康まつりの開始を告げるかのように、秋の高い青空へ元気に響きわたりました。

一ノ瀬義雄実行委員長(代々木病院副院長)と石橋勝副委員長(代々木健康友の会会長)に続き、千駄ヶ谷大通り商店街振興組会の牛



輪投げが大人気。「僕の番まだかなー」



たくさんのお客さんで、飲食スペースに座れなくなるほどの大盛況



木工教室では職人さんの丁寧な教え方が好評

久保英昭理事長が挨拶。「先日、地域のお祭りでおみこしが代々木病院を訪れたことをふまえ、代々木病院におみこしがきて神様がきた」と代々木病院が地域の取り

組みへ参加した事にふれ、一緒に地域を盛り上げていくことを話しました。

### 子ども達がたくさん来店

昨年は開催日の午前中まで荒れましたが、今年は朝から快晴、開始時間前よりお客さんが来店し模擬店で購入。オープニングイベント終了後一気に増え、飲食スペースに



手ぶりでわかりやすく説明する健友会の山田智理事長

座れなくなるほどの大盛況となりました。

「今年ももっともっと子どもにきてもらおう」と、子どもむけの企画を増やし、輪投げをはじめ、ヨーヨー釣りや、スパーボールすくい、綿あめを実施。たくさんのお客さんが訪れました。木工教室で、大工さんの手ほどきを受ける子どもたちの表情は真剣そのものでした。



参遊亭楽虎氏の古典落語が笑いを誘う



昨年と違って雨の心配もなく青空の下でのオープニングイベント

健友会の山田智理事長が「地域で明るく生きていくために」をテーマとして、認知症の人を地域で支えることの大切さなどについて講演しました。会場では立ち見ができるほどになりました。今回は子どもと地域の参加者が増え、より活気のある取り組みとなって大成功でした。

### 講演会場では立ち見の人が

フリーマーケットでは笑顔で看護師2人が「ハイチーズ」



フリーマーケットでは笑顔で看護師2人が「ハイチーズ」

### 戦争を風化させない!

代々木病院周辺の戦跡を歩いてめぐる

対象：興味のある方ならどなたでも参加可能  
日時：11月17日(土) 14時出発  
集合場所：代々木病院本館1階入口  
所要時間：(徒歩) 60~90分くらい。  
「出陣学徒壮行の地碑」「樺太日露国境天測標」など5ヶ所を巡ります。小雨決行。  
主催：勤医会千駄ヶ谷地域 原水禁世界大会実行委員会  
担当：代々木病院 組織広報室 石井 電話03(5411)9502

### 千駄の萱

2012年9月26日、理化学研究所は13番目の元素発見が確定したと発表した。新元素は、国際学会が認定する最初の実験結果を出したグループに命名権が与えられるという取り決めがなされており、日本に命名権を認めるか審議中である。命名には時間がかかることされ、中には発見から30年以上前の決まらなかった元素もある程である。▼福島原発事故以来、耳にする事になった多くの元素名にも由来がある。例えばヨウ素はギリシャ語の「すみれ色」セシウムはラテン語の「青い空」、プルトニウムは冥王星(プルート)からであり、またギリシャ神話に登場する地獄の王にも由来している。名前が単なる識別の為にツールではなく、紆余曲折を経て考えられ、つけられてきたのだと思うと感慨深いものがある。▼20世紀は元素の発見と核開発が表裏一体であった。113番目は日本にちなみ「ジャポニウム」の名が有力だそうである。生まれたての子供の様に、将来何になるのか、何の役に立つのかまだ誰にも分からないけれど、初の日本生まれの元素が悲劇ではなく、平和利用に役に立つことを願ってやまない。(ま)